

雄 飛



向陽高校進路便り 第56号
平成30年 11月29日(木)
～進越超信～

23期生センター試験まで

51!

1, 2年生のみなさん、3年生が最近ばたばたとせわしげなのに気づいていましたか？そう、いま先輩たちは推薦入試に向けての準備に奔走中。今回、昨年度に合格した先輩たちの『合格体験談』をひもとき、1, 2年生から出来ることを意識して、年末を迎えて欲しいと思います。3年生で、一般試験で受験するひと、ご参考に。

抜粋なので、くわしい全文は教室に置かれている『進路ガイド』にありますよ！ Check it!



琉球大学国際地域創造学部 国際地域創造学科 (推薦入試①)

22期生国際文科 神谷 美月

1 志望理由

私は高3になる前の春休みに、上海に留学したことがきっかけで経済に興味を持ちました。また、授業で現代社会を選択していた事や県内の貧困問題をどうにか改善したい思いから、経済学が学べるこの学部を志望しました。(この学部は法文学部と観光産業科学部を改組して新たに設置されました。2年次前期までは共通科目で、その後それぞれのプログラムに配属します。)

2 面接

「自分の考え、意見はある」→「でも長々とまとまりなく話してしまう」→「だから伝えたいことが伝わっていない」状況からスタートした私が這い上がっていくまでをご紹介します。

① 詳しく調べる事！

面接において私の経験上「なんとなく知ってる」では通用しません。志望大学や自分の学びたい分野については、何を聞かれても答えられるくらいに沢山の材料(知識)を用意してください。予想外の角度から質問をされた時でも、これまで集めてきた知識の中からいくつかのキーワードが自然とまとまるので、本来伝えようと思っていた事を上手く伝えられますよ。(やってみればこの感覚のことか！って納得すると思います)

② 長所は生かし、短所は認めて面接対策を！

私は自分の事を心配性だと思っているので、予想される質問を思いつくり書き出してみました。反対に、暗記だけなら得意という変な自信があったのでそれを長所と呼びました。自分が作った質問&回答シートを全て暗記したら、怖いものは無いと信じ込むことで自分に面接に対する自信をつけさせていきました。ただ、注意していただきたい事は、全て暗記したら安心ということではありません！暗記するほどの練習量が、本物の自信に成るという意味ですよ！

③ 先生方を自分で捕まえて練習を重ねる！

面接対策をするなら、先生方や大人の人と練習した方が良いです。友達と練習する事も回数を積むためには良い方法ですが、先生方を捕まえて面接練習する時の頭のフル回転&緊張感が自分を伸ばすには1番だと思います。「先生、忙しそうだし迷惑かも…」とためらう気持ちもあるかと思いますが、「合格するのだ」と真剣に思うなら、自分でスケジュールを組んで多くの先生方と練習してください。面接する度に、自分の考えが発展していきます。面接だけに関わらず、ちょっとした会話が合格するために必要な知識・アイデアかもしれないんです！**転がっているチャンスをつかめるのは結局、自分だけです！**

★私が質問されたもの

- あなたが地域・国際的に興味・関心のある文化とその理由
- あなたが大学で学問以外にしたい事とその理由
- あなたが高校生活で自分の考えでクラスの人々に何か影響を与えた経験について
- あなたが現在、興味・関心のあるニュースと、それについて大学でどうしていきたいかについて



3 小論文 (おすすめの本、参考書等もあれば書いてください。)

新しい学部なので過去問はありませんでしたが、改組前の法文学部総合社会システム学科の過去問で対策しました。

内容 「地域内再投資力の言葉の意味とあなたの評価、持続的な地域づくりについてのあなたの考え」

120分 1000～1200字以内

新聞やニュースに関心をもつ！

小論文では課題文の内容を素早く噛み砕き、自分の持っている知識や情報と組み合わせて時間内に考えを述べていく事が求められます。なので、新聞を読むことはテレビと違い、**情報を得るだけではなく複雑な文章から内容を理解できる力が備わります**。また、**文章を書くときに新聞から学んだ接続詞や適当な用語がスラスラとできるようになる**ので、自分の考えを明確に表現できますよ。日頃から新聞を読む習慣がある人ほど、小論文の試験が自分の見方になります。全てに目を通す時間がなければ、自分は○面を読むと決めて毎日、自分が決めた通りに取り組んでください！(センターの評論文も得点があがるはずです)

今日から始めることをお勧めします！

自分の考えをもつ！

私が小論文対策で意識してきたことです。新聞やニュースから**情報を得て「自分だったらこう思う、こうした方が良いな」と考えてみる事をクセ**にしていきました。さらに言うと日常のあらゆる出来事についてもいちいち考えていました。なんとなく「これは良い、これはダメ」という二択の偏った判断しか出来なかった私でも、深く考える習慣により物事の全体を見ようとする人間になれました。

4 その他対策(専門科目等)

★志望理由書も丁寧に。

小論文と面接に比べて、目に見えて完成を実感できるのが志望理由書ですね！ですが、これも小論文・面接同様、必死になって書き上げてください。(志望理由書も含めて試験です) なぜなら面接で自分の伝えたい事を全て伝えるのは、あまり現実的ではありません。だからこそ、志望理由書をここで書くのだと思います。考え方によれば、大きなチャンスをもたらしていますよ！

私が書いた内容

- 将来、どのように社会貢献したいのか
- 自分は何を見てきたのか、それをどう考えているのか
- 自分の目標、目的となった事柄のきっかけ・理由
- 志望大学で何をしたいから、その大学でないといけないのか
- 現実社会のデータを扱うときは、正しいものかどうか調べる



5 後輩の皆さんへ

私は1,2年の時に、日々の授業ではガッツリ眠り、復習もしてこなかったため、3年生になってから大変でした。ただ、これまでの定期テストや提出物だけは真剣に取り組んでいたため、成績を落とさずにすみましたが、3年生になって同級生の人の倍の努力をすることになりました。授業をただ受けて、復習など一切しなかったため3年生初めの模試は実力を計るものではなく、**マーク運を試していたに過ぎませんでした**。ですので、後輩の皆さんには毎日の復習をする事を勧めます。(やってこなかったのは私だけだったかもしれませんが…) また、3年生になって2年分の知識を得ようとするのは、やめておいた方が良いでしょう。推薦を考えた時に、勉強面もどうかしないといけない状況では毎日、焦る日々を送ることになってしまいます。また推薦を受けるつもりのない人も、ボランティア活動や実績を積んでください。**自分が行動する範囲が広くなれば、どこかでヒントになるような体験もできます。結局、何がきっかけだったか分かるのは後々になって気づくもの**です。

3年間はあっという間に過ぎていきます。悩んだり、逃げだしたくなる時もあると思いますが、**何のたけに向陽高校へ来たのか、今日だけしか出来ないことは何か、目的を思い出してまた、進んでください**。自分が望んだものを手に入れるために、考えて、行動して、時にはズル賢くなって、高校生活を満足のいくものにするのはいかがですか？